

令和6年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立吉井中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-64-3245			氏名	金子 実千代
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	法令の遵守、体罰の禁止、セクハラ等の禁止、飲酒・酒気帯び運転の禁止、情報管理の徹底			
<u>取組の評価・改善点</u> ○職員研修で、「教職員の服務規律の確保等について」（通知）を全職員に配付し、法令遵守について確認することができた。 ○体罰は、学校教育法第11条において禁止されており、いかなる場合も体罰を行わないということを職員研修の中で確認し、具体的体罰事例を取り上げながら、根絶に向けた研修が実施できた。また、全職員が業績評価に「体罰根絶宣言」を記入し、人権と信頼による教育実践の展開にむけて努力していくことを確認することができた。 ○セクハラ・わいせつ行為の防止に向け、チェックシート表を用いて自己点検を行い、防止への意識を高めることができた。 ○飲酒・酒気帯び運転や交通事故の撲滅のために、実際に起こった事故の例を挙げて指導を行った。 ○電子情報持ち込み・持ち出し管理台帳による情報管理の徹底について研修を行い、情報管理への意識を高めた。					
7月	実施テーマ	体罰の禁止、SNSの利用、情報管理の徹底			
<u>取組の評価・改善点</u> ○長期休業中の部活動指導について体罰根絶についての職員研修を行った。 ○SNSのトラブルについて、実際に起きた事例とその対処について研修を行い、SNSの使用について生徒への指導を徹底するとともに、教職員自身が生徒及び保護者と私的な連絡を取ることがないように指導を行った。 ○長期休業前に諸表簿やUSBメモリの情報管理の徹底のための研修を行い、情報管理への意識を高めた。					
12月	実施テーマ	情報セキュリティ対策の徹底、交通事故防止、飲酒運転の禁止、公金等の取扱い			
<u>取組の評価・改善点</u> ○USBメモリ等による情報の持ち出しや持ち込みのルールについて、再度共通理解を図った。また、校外への個人情報等の持ち出しは絶対しないことを徹底した。 ○年末年始は交通渋滞や遠出の機会、飲酒の機会が多くなることが考えられるため、安全運転の徹底及び飲酒・酒気帯び運転撲滅について指導を行った。 ○公金の処理など、年度末に向けて通帳や会計簿等の適正な処理について確認した。					
2月	実施テーマ	児童生徒性暴力等防止			
<u>取組の評価・改善点</u> ○児童生徒性暴力等防止に関する取組事例集及び研修用動画を活用した校内研修を行った。具体的な事例等をもとにワークを行い、当事者意識・課題意識の醸成、有効な早期発見・初動対応について意見を述べあうことで、性暴力防止の意識を高めた。					
構成員	所属内委員（5名）、外部委員（5名 役職等： 学校評議員）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	オ	カ	キ						
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 ・ 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
- ケ 決意表明
- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
- コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。